

プレスリリース

インクルーシヴなスマートライフケア社会を築く看民工学

～看民工連携シンポジウム開催のお知らせ～

- 2/18(金)14:00より、看民工連携シンポジウム「インクルーシヴなスマートライフケア社会を築く看民工学」を開催。
- 超高齢社会の進展により益々拡大する在宅医療と在宅ケア。訪問看護の過重労働や看看連携を含めた多職種連携といった課題も浮き彫りに。
- 看護・介護といった領域のサイエンス“Nursing Science”の活性化と働き方改革のための工学との連携が、人々が病を気にしないで済む世の中を実現できるのではないかと、その仮説のもと、それを実証するための科学技術「看民工学」を提唱。
- 「看民工学」で生まれた科学・技術を普及させるための出口戦略について討論。

報道関係者 各位

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、後述の実施要領にて看民工連携シンポジウム「インクルーシヴなスマートライフケア社会を築く看民工学」を2/18にオンライン開催致します。

超高齢社会の更なる進展に伴い、病院は急性期の患者で手一杯、高齢者の多くが抱える慢性疾患は在宅医療に委ねる傾向が高まっています。それと同時に、病を診るというより民を看る職業としての看護・介護領域の職務が急拡大し、看護・介護の過重労働や看看連携を含めた多職種連携といった課題も浮き彫りとなってきました。ナイチンゲールが統計学者としての専門性を活かして野戦病院での死亡率を大きく改善させたことは、あまりにも有名ですが、同時に彼女は、21世紀の在宅医療における看護や介護の必然性を予言しています。本シンポジウムは、工学が看護・介護領域に足を踏み入れることで、人々が誰でも何時でも何処でも、病を気にしないで済む社会を実現できるのではないかと、その仮説のもと、それを実証するための科学技術「看民工学」を提唱し、具体的な出口戦略を築くことで新しい産業を生み出そうとするものです。

今年4月には、川崎市立看護大学（現・川崎市立看護短期大学）が4年制大学として開学し、看護研究の他、ダイバーシティマネジメントなど超高齢社会に求められる各種素養を身に着けた看護師の育成が始まります。また、川崎市看護協会とも連携し、今後更なる充実が求められる訪問看護

ステーションや介護領域、保健領域での工学的ニーズについてヒアリングを行っております。

看護・介護に関わる科学・技術の更なる発展を推進し、同領域で多忙を極める専門職の皆さまの働き方改革にも繋がることを期待しての試みとなります。是非、本シンポジウムにご出席頂ければ幸甚に存じ上げます。

記

日時： 2022年2月18日 14時～17時

場所： Zoomによるオンライン（13時45分に開場します）

参加費： 無料

事前登録： オンラインミーティングの性格上、2月16日までに以下のサイトからご登録をお願いします。

https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/form/kmk_sympo2022/index.html

プログラム（お名前の敬称は省略させていただきます）：

- 挨拶（趣旨説明）
片岡一則（川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター センター長）
久万竜司（川崎市臨海部国際戦略本部 本部長）
- 講演
 - インクルーシブな社会の実現に科学技術はどのような貢献ができるだろうか？
菱山 豊（徳島大学副学長、元・文部科学省科学政策局長）
 - 看民工を繋ぐ看護現場のニーズについて
荒木田美香子（川崎市立看護大学<4月開学>、副学長予定）
 - イノベーションに繋がる中小企業支援と産業振興財団の役割
鈴木 毅（川崎市産業振興財団 専務理事）
- パネルディスカッション 「インクルーシブなスマートライフケア社会を築く看民工学」
荒木田美香子（川崎市立看護大学<4月開学>、副学長予定）
一木隆範（東京大学大学院工学系研究科 教授）
白崎 功（株式会社リアム大塚 代表取締役社長）
高橋正泰（株式会社日本設計ライフサイエンスプロジェクト部 専任部長）
菱山 豊（徳島大学副学長、元・文部科学省科学政策局長）
八木美智子（川崎市看護協会 副会長）
モデレーター：島崎 眞（iCONM/COINS コミュニケーションオフィサー）
- 総合討論
- 総括
三浦 淳（川崎市産業振興財団 理事長）

主催： 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター

後援： 川崎市

川崎市教育委員会

川崎市立看護短期大学

川崎市看護協会

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の

育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

2022 年 1 月 20 日